

総務渉外委員会

委員長 佐藤 壮

委員会報告

2017年度総務渉外委員会は、昨年迎えた65周年の勢いを追い風として、これまで以上に地域に必要とされる団体であり続けるよう、組織運営基盤の強化を図ることと、会員一人ひとりの参加意欲を高め、自身の役割を全うするという意識を向上させることの二つを念頭に置いて活動を展開してまいりました。

まずは、総会、定例会を盛会とするために、各委員会と連携を取り、委員会メンバー丸となって行動いたしました。しかし、理事長の願いであった100%例会を行う事が出来なかったことは悔いが残り、メンバーへの声掛けを徹底しなければならなかったと反省しております。声掛けを徹底して行い、メンバー一人ひとりが組織の大切な一員であることを認識していただくことは、例会や事業への参加率を上げる為にも重要なことだと考えますので、次年度に声掛けの重要性を引き継いでまいります。そして、より強固な団結と一体感を得るために、例会や事業のレポートをFAXやSNSなどでメンバー全員へ発信をしました。参加できなかったメンバーに対して内容を発信することで、メンバー間での意識の共有を図り、組織の団結に繋がったと考えます。さらに、我々の活動に理解、賛同していただくために、能代青年会議所のWEBページ等で情報の発信に取り組み、閲覧者数が2000を越えた記事もあるなど、認知度の向上に繋げることが出来たと考えます。また、地域に愛される団体であるために、積極的に地域行事へ参画し、地域の方々とおおいに触れ合い、絆を深めることが出来たと考えます。

そして、我々の活動を永続的で力強いものとするために、会員拡大運動に精力的に協力し、20名を超える会員拡大という大きな成果を得ました。今年度の経験を活かし、次年度以降も継続して拡大運動に取り組んでまいります。また、「団結」をテーマとした4月の例会では、クリード等のセレモニーや組織の魅力についての理解を深めてもらう事が出来れば、メンバーの参加意欲の向上に繋がります。それが組織の団結力を高めることに繋がっていくと考え企画致しましたが、準備不足のため計画通りに定例会を進めることが出来ず、準備の大切さを痛感させられる結果となりました。そして、「本気」をテーマとした7月の例会では、ティベートを行い、文字通り本気の論戦が繰り広げられ、思考力、論理展開力、対応力を中心に会員資質の向上へ一役を担うことが出来たと考えます。

11月の家族交流会では、交流すること、我々の活動を家族に知ってもらうこと、家族に感謝の気持ちを伝えることを三本の柱に、活動動画の上映や、ネイルケアやハンドマッサージなどのブースを設置し、こちらも好評をいただき、今後より一層積極的に運動していくための礎になったと思います。

最後に、佐藤理事長より任命いただき、自身初の委員長として過ごした一年は、失敗しては助けられという決して格好のいいものではありませんでした。しかし、この一年を通して一番良かったこともまた失敗から多くの気づきを得られたということでした。貴重な経験の機会をくださったことと、理事メンバー、委員会メンバーをはじめ、支えてくださった全てのメンバーにこの場をお借りしてお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。

事業報告

(日付)	(内容)	(会場)	(公益性)
・4月16日	風の松原クリーンアップ	風の松原	○
・4月22日	風の松原ボランティア大会	風の松原	○
・4月23日	4月担当例会 団結!心を一つに	旧料亭金勇	
・5月28日	第38回のしろこどもまつり	子ども館	○
・6月10日	黒松並木剪定事業	7号線沿い	○
・7月15日	しのめ夏祭り	能代支援学校	○
・7月24日	7月担当例会 ティベート～本気の論戦～	中央公民館	
・8月23日	5%理事選挙	ブラザ都	
・10月1日	119消防ふれあい広場	能代消防署	○
・10月7・8日	産業フェア	総合体育館	○
・10月21日	黒松並木剪定事業	7号線沿い	○
・11月21日	11月家族交流会	ブラザ都	
・翌1月13日	広報誌「松原」の発行		
・通年	総会・定例会		
・通年	事業写真の管理		
・通年	ホームページの管理・更新		
・通年	想いを引き継いだ会員拡大運動		

定例会出席率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
	74%	68%	74%	70%	65%	60%	78%	63%	63%	79%	63%	61%	68%

決算

《項目》	《金額》
・4月担当例会 団結!心を一つに	3,440円
・7月担当例会 ティベート～本気の論戦～	1,210円
・11月家族交流会	45,190円
・広報誌「松原」の発行	39,960円
合計	89,800円